

宮の材料の内在的な意義

(1)

聖書：ピリピ 1:19-21 前半、3:10。詩 92:12-14。ホセア 14:5-9。ローマ 11:17, 24

I. 神の建造の材料となるために、わたしたちはキリストの死（いとすぎの木によって表徴される）、キリストの復活（香柏によって表徴される）、その霊としてのキリスト（オリブの木によって表徴される）を経験する必要があります：

A. 十字架につけられ復活したキリストは、イエス・キリストのすべてを含む霊また手順を得た三一の神の臨在であり、神の宮またキリストの拡大と拡張としての召会を建造するための材料の実際です——ピリピ 1:19-21 前半、I コリント 3:9, 12 前半, 16-17。

B. キリストの死、キリストの復活、キリストの霊は、わたしたちの霊の中で一であり、生けるパーソンとなっています。この生けるパーソンは、複合の霊、すべてを含む霊であり、手順を経て究極的に完成された三一の神として、わたしたちの享受となっています——ピリピ 1:19-22、3:10。ガラテヤ 6:17-18。出 30:22-25。ローマ 8:16。

C. わたしたちは、十字架につけられ復活したその霊としてのキリストに彼ご自身をわたしたちの存在の中へと建造し込んでいただく必要があります。それによって、彼はわたしたちを通して生きて、彼ご自身を他の人の中へと建造し込むことができます——エペソ 3:16-17。I ペテロ 4:10-11：

1. これは美しいキリストの計り知れない富をもって、彼の美の家である召会を美しくすることです——イザヤ 60:7 後半, 9 後半, 13, 19, 21。エペソ 3:8, 5:26-27。

2. マリアが主に対する最上の愛を表現したとき、彼は言いました、「彼女はわたしに良い美しい事 [賞賛に値する、高貴な事] をしたのである」——マルコ 14:6 (詳訳聖書)。

II. いとすぎの木は、十字架につけられたキリストを表徴します——列王上6:15後半, 34. 参照、創6:14：

A. 古代、ユダヤ人は墓の上にとすぎの木を植えました。ですから、いとすぎの木は、キリストの死における人性、十字架につけられたイエスを表徴します——I コリント 2:2。

B. 宮の扉は、いとすぎの木で作られ、ケルビムとしゅろの木が彫られていました——列王上 6:34-35。参照、エゼキエル 41:18-20：

1. ケルビムは、主の栄光が被造物の上に現されることを表徴します(10:18。ヘブル 9:5)。しゅろの木は、キリストの勝利とキリストの永続し永存する力を表徴します(エゼキエル 40:16。啓 7:9)。

2. しゅろの木とケルビムがいとすぎの木の扉に彫られたことは、キリストの勝

利と主の栄光が苦難を通してわたしたちの存在の中へと「彫られた」ことを表徴します——使徒 16:7. ピリピ 3:10. II コリント 4:10-12。

III. 香柏は、キリストの復活を表徴します——列王上6:9, 10後半, 15前半, 16, 36 :

- A. 香柏の木はレバノンの山の上に生えていました。こういうわけで、香柏はキリストの復活における人性、復活したキリストを表徴します——詩 104:16. 雅 4:8。
- B. 復活し昇天したキリストは王として、ダビデの家から出た威厳があり壮大な香柏です——エゼキエル 17:22-23. ローマ 1:3-4. 使徒 2:22-24, 32-36. ヘブル 2:9。
- C. わたしたちは、レバノンの香柏の木のように根をキリストの中へと張る者となる必要があります。それによって、わたしたちはエホバの家に植えられて命において成長し、わたしたちの神の大庭で栄え、年老いても実を結び、生気に満ち、青々となります——ホセア 14:5-9. 詩 92:12-14. 列王下 19:30。
- D. わたしたちは、天然の能力と、死と復活を経過した能力の違いを見ることがあります——使徒 7:22. 出 3:2-3, 14-15 :
 - 1. 天然の能力は自己中心的であり、わたしたちを高ぶらせ、高慢と自己に栄光を帰すという結果になります——参照、コロサイ 1:17 後半, 18 後半. ピリピ 3:3. II コリント 12:9。
 - 2. 天然の能力は利己的であり、その計画と策略はすべて自己のためであり、神のみこころを少しも考慮しません——参照、マタイ 16:24。
 - 3. 天然の能力は、自分に頼り、自分に信頼し、神にではなく自分に依存するようにさせます——参照、II コリント 1:8-9. 4:6-7. 12:7-9。
 - 4. 天然の能力は、一時的であり、試練、挫折、反対に耐えることができません——参照、ヨハネ 2:19. 使徒 2:24。
 - 5. 天然の能力にしたがって仕えている人たちは、人からの褒賞や評価を願います——参照、創 15:1. ヘブル 11:5. II コリント 5:9。
 - 6. 天然の能力は、自分を現すこと、人に知られること、人の前で行なわれることを好みます——参照、マタイ 6:4, 6, 17-18。
 - 7. 天然の能力は、肉と短気の要素をもってミングリングされています。ですから、承認されないと、怒ります——参照、I テサロニケ 2:4。
 - 8. 命から離れた天然の能力と才能は、蛇のようであり、神の民を毒します。命ははたのようであり、神の民に命を供給し、彼らをいばらの中から成長するゆりのようにならせ、また暗い夜に輝く星のようにならせます——参照、出 4:1-9. マタイ 3:16-17。
 - 9. 人が天然の能力を召会の中へともたらそうするときはずっと、召会の実際が失われます。死と復活を経過したものだけが、召会の中へともたらされ得ます——I コリント 3:16-17。
- E. 召会は、キリストの復活の力の貯蔵庫また倉庫です。この力はキリストの中で働いた時、彼をかしらとしました。この力はわたしたちの中で働く時、わたしたちを彼のからだとします——エペソ 1:19-23. ローマ 8:2, 11. 12:1-2。

IV. オリーブの木は、かたちを変えた、命を与える霊としてのキリストを表徴します

——列王上6:23, 31-33. I コリント15:45後半 :

- A. オリーブ油は、神の霊を予表します。ですから、オリーブの木は、神の霊の中のキリストの人性、すなわち油塗られたキリストを表徴します。彼はまた、油塗りとしての複合の霊でもあります——ヘブル 1:9. II コリント 1:21. I ヨハネ 2:20, 27. 出 30:25, 30。
- B. わたしたちはキリストの枝々であり、栽培されたオリーブの木としての彼の中へと接ぎ木されて、彼を享受しています——ローマ 11:17, 24。
- C. 命を与える霊は、天的なオリーブの木としてのキリストの命の液です。もしわたしたちが天的なオリーブの木の脂肪分また樹液としてのキリストの豊富にあずかることを願うなら、わたしたちはキリストの命の液としての命を与える霊と接触する必要があります——ルカ 23:31. 参照、詩 92:13-14. 36:8-9 :
1. わたしたちとキリストとの接ぎ木は、わたしたちの霊の中で起こったので、わたしたちは絶えず霊を活用する必要があります。わたしたちは「おお、主よ、おお、主よ」と言って主を呼び求めるとき、霊を活用し、直ちに命を与える霊としての主にあずかります——ローマ 8:16. I コリント 6:17. ローマ 10:9-13。
 2. キリストの豊富を享受する別の方法は、神の言を読み、あらゆる言葉にアメンと言うことです。この事によって、わたしたちは霊を活用し、主と接触し、彼を享受し、脂肪分としてのすべてを含む霊にあずかります——詩 106:48. ネヘミヤ 8:6. II コリント 1:20. 啓 19:4. エペソ 6:17-18。
- D. わたしたちは、わたしたちが「自然の性質に反して」キリストの中へと接ぎ木されたことを見る必要があります。「自然の性質に反して」とは「自己に反して」を意味します——ローマ 11:24 :
1. わたしたちの古い性質に属するものはすべて、主の性質に相反します。わたしたちの性質は、罪深い性質であり、主の性質は神聖で、霊的で、聖なる性質です——ガラテヤ 5:16-17. II ペテロ 1:4。
 2. オリーブの木としてのキリストとその豊富にあずかるために、わたしたちは野生の枝としてのわたしたちの古い背景、古い歴史、古い生活、古い習慣、古い習わしから完全に断ち切られる必要があります——ローマ 11:24. 参照、エペソ 4:22-24。
 3. わたしたちの古い生活様式から断ち切られて、キリストの中へと接ぎ木される経験を享受するために、わたしたちは霊を活用して、彼の御名を呼び求め、彼の御言を祈り読みする必要があります——ローマ 10:6-8. エペソ 6:17-18。
- E. ローマ第 11 章は啓示していますが、わたしたちはオリーブの木としてのキリストの枝々であって、「オリーブの実」を結び、人を和らげる油を生み出します。ヨハネ第 15 章は啓示していますが、わたしたちはぶどうの木としてのキリストの枝々であって、「ぶどうの実」を結び、人を活気づけるぶどう酒を生み出します。そしてルカ第 10 章で、良いサマリア人は死にかけている人に油とぶどう酒を注ぎました—— 33-34 節 :

1. 油とぶどう酒は合わさると、人のいやしとなります。わたしたちは主を呼び求めれば呼び求めるほど、そして彼の御言を祈り読みすればするほど、ますます「オリーブの実」と「ぶどうの実」を結んで、油とぶどう酒を生み出して、内側で傷つき落ち込み失望している人の中へと注ぐでしょう——参照、創41:51-52。
 2. わたしたちは主の中に住むことによって、人を和らげる油と人を活気づけるぶどう酒を生み出すことができます。わたしたちは彼の御言を祈り読みすることによって、また一日中彼の御名を呼び求めることによって、主の中に住むことができます。それから、わたしたちは他の枝と正しく組み合わされて、神の定められた御旨のためにからだの生活を享受します——イザヤ 55:1-11、ヨハネ 15:7, 12。
 3. オリーブの木からできた油は、神と人を尊ぶために用いられました(士 9:8-9)。これが表徴するのは、霊によって歩く人は神を尊び(ガラテヤ 5:16, 25)、その霊を供給する人は人を尊ぶということです(Ⅱコリント 3:6, 8、ピリピ 3:3)。
 4. ぶどうの木からできたぶどう酒は、神と人を喜ばせるために用いられました(士 9:12-13)。これが表徴するのは、自分を犠牲にし人を活気づける命また人を喜ばせる命としてキリストを享受する人たちが神を喜ばせるということと(マタイ 9:17、雅 1:4、4:10)、自分を犠牲にし人を活気づける命また人を喜ばせる命としてキリストを供給する人たちが人を喜ばせるということです(Ⅱコリント 3:6、ピリピ 2:17、Ⅱテモテ 4:6)。
- V. 神の宮としての召会を建造するための真のクリスチャン生活は、十字架につけられ復活した命を与える霊としてのキリストがわたしたちの存在の中へと建造されて、わたしたちが復活の力によって彼の死に同形化されて、日ごとに新しくされ、栄光から栄光へと造り変えられて、召会の中に彼の栄光があるようにする生活です——ピリピ3:10、Ⅱコリント3:18、4:16-18、エペソ3:21。